

'82 JAPAN ROAD RACE GRAND PRIX

国際格式

'82全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦

第19回日本グランプリロードレース大会

公式プログラム

☆期間：9月11日(土)～12日(日)
☆会場：三重県・鈴鹿サーキット
☆主催：日本モーターサイクル協会(MFJ)
☆後援：文部省・三重県・鈴鹿市



苛酷なレースにも優れた性能を発揮!



黒山選手



水谷選手

細い中心電極で力強いスパーク!!
世界特許のUカット接地電極で
確実にファイア!!
激しいデッドヒートがくり返される
レースにも、その性能をいかに
発揮。ライダー達の厚い信頼に
応えます。



デンソープラグ GU

ロードを征す。閃光インパルス



この写真は、水谷勝が東京オートコースで走行中を撮影したもので、一般公道では制限速度を守り、ムリな走行やコーナリングをしないようにします。

48psのビッグパワーを生む、TSSC&サイクロン[®]4intalマフラー。

優れた燃焼効率で定評のTSSCエンジンと新採用サイクロンタイプマフラーのマッチング。48馬力のハイパワー



と低燃費を実現しました。

世界初。減衰力左右同時リモコン調整システム・RCDFリヤサスペンション。

世界で初めて採用し、左右同時に4段階の減衰力調整を可能にしたRCDF機構式(減衰力左右同時リモコン調整システム)のリヤサスペンション。操作はリモコン方式で、5段階のスプリング調整と合わせて20通りのサスペンションのセッティングを可能としました。走行条件に合わせて、最適な位置を選択できます。

このダイナミックなパワーと操縦感。レーサーからのフィードバックを体現している。



水谷 勝

(1997年全日本ロードレース選手権)
500ccクラスチャンピオン

スズキワークス入会して2シーズン目。今年の全日本ロードレース選手権では、初戦から第2戦までRG500を駆り、開幕の7連勝を達成した。

新登場

Impulse

インパルス/GSX400FS

- 空冷・4ストローク・4気筒・DOHC・16バルブ・TSSC ●最高出力48ps/10,500rpm ●最大トルク3.5kg-m/8,500rpm
- 6段リターン変速 ●ダブルANDF機構式フロントフォーク ●RCDF機構式リヤサスペンション ●乾燥重量171kg



標準現金価格493,000円

- ★ヘルメットは必ず着用しましょう。
- ★点検整備を忘れずに行いましょう。
- ★安全の為改造はやめましょう。

信頼に応える技術のスズキ

SUZUKI

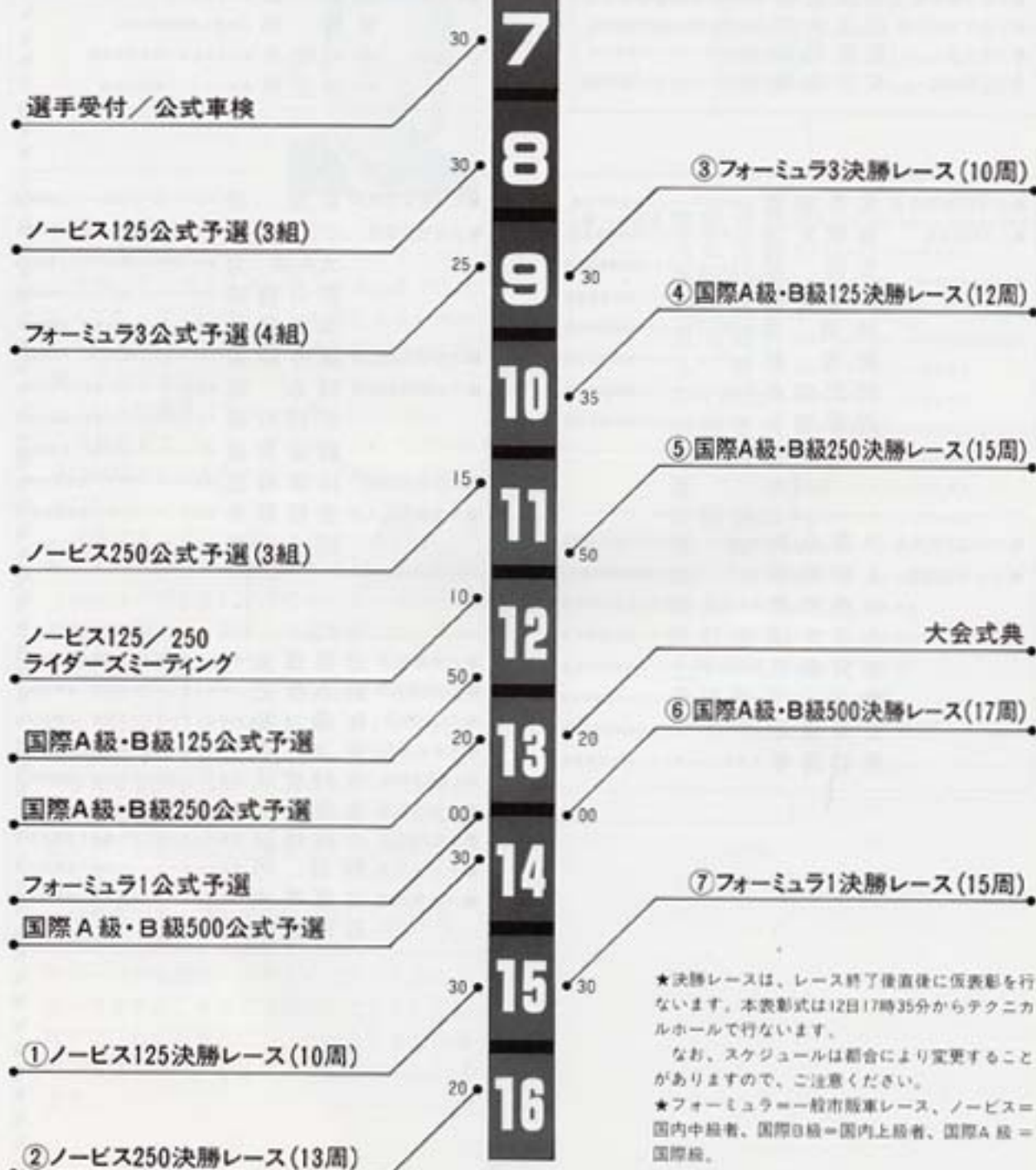
●本カタログをご覧の方は、本カタログ請求書と〒178-8501 東京都小平市五日市3-1-1に送付ください。〒402 静岡県静岡市駿河区3000 鈴木自動車工業株式会社 広報課 受付までご連絡ください。

タイム スケジュール

9月11日(土)

時間

9月12日(日)



★決勝レースは、レース終了後直後に仮表彰を行いません。本表彰式は12日17時35分からテクニカルホールで行ないます。

なお、スケジュールは都合により変更することがありますので、ご注意ください。

★フォーミュラ＝一般市販車レース、ノービス＝国内中級者、国際B級＝国内上級者、国際A級＝国際級。

ロードレース
おもしろ
ミニミニ百科

Thrilling, Exciting

連戦連勝で
7勝目を上げた水谷

今シーズンは強い、としかいいようがないのが水谷勝だ。全日本選手権500ccクラスにスズキの市販車RG 500を駆り、ワークスマシンを相手に第1戦から第7戦まで連戦連勝を上げている。もちろん、本人もいうように運もついているだろうが、とにかく速い。GPを待たずして、早シリーズチャンピオンも決定しており、GPでは余裕で走るのではと思われるが、本人いわく「レースはスターティングポジションについたら、いつでも真剣勝負」。

実は、彼はロードレースよりも熱中しているのがモトクロスなのだ。モトクロスの現役時代には、国際B級まで走った経験もあり、最近では中部選手権など地方選手権のマーシャルもつとめている。

来年は、スズキRGガンマー500に乗りたいたいとっており、スズキワークスの中心となって大活躍が期待される。

片山
500cc.世界GPで
念願の優勝！

昨年、ホンダNR 500で世界GPに参戦していた片山敬治は、今年から2サイクルマシン・ホンダNS 500を駆り、再び世界GPに挑んだ。毎週のようにあるGPにとってメンテナンスしやすい2サイクルマシンは、必要条件のひとつだった。

片山は今シーズン第1戦から絶好調で6位、第2戦9位、第4戦6位、第5戦7位、第6戦8位、第8戦5位とポイントを上げている。そして、ついに第10戦で片山は、ホンダNS 500を駆って優勝を獲得した。この第10戦は、8月8日、スウェーデンのアンダーストープで開催されたものだ。

'77年度、350cc世界チャンピオンになった片山は、'79年の「国際スポーツ精神賞」にノミネートされていた。この賞は、あらゆる分野における、その年の最も優れたスポーツマンシップにもづく行為に対して与えられる権威あるもの。片山がノミネートされた理由は、'78年のマン島レースでバット・ヘネンが転倒負傷し



★
日本グランプリ
ロードレース大会
歴代優勝者

●第1回 (1963年)

50cc L.TAVERI }
125cc F.PERRIS } 世界選手権
250cc J.REDMAN }
350cc J.REDMAN }

●第2回 (1964年)

50cc R.BRYANS }
125cc E.DEGNER } 世界選手権
250cc J.REDMAN }
350cc J.REDMAN }

●第3回 (1965年)

50cc L.TAVERI }
125cc H.ANDERSON } 世界選手権
250cc M.HAILWOOD }
350cc M.HAILWOOD }
ジュニア 50cc 河崎裕之 }
// 90cc 瀧野靖徳 }
// 120cc 宇野順一郎 }
// 250cc 三宅恵義 }
// 350cc 松本 明 }

●第4回 (1966年)

シニア 50cc 片山義美 }
// 125cc B.IVY } 世界選手権
// 250cc 長谷川 弘 }
// 350cc P.READ }
ジュニア 50cc 瀧野靖徳 }
// 90cc 瀧野靖徳 }
// 125cc 横田剛司 }
// 250cc G.NIXON }
// 350cc 三宅恵義 }

●第5回 (1967年)

シニア 50cc 伊藤光夫 }
// 125cc B.IVY } 世界選手権
// 250cc R.BRAYANS }
// 350cc M.HAILWOOD }

白熱したドラマの
立役者たち

栄冠は誰に?!

世界GPと呼んでも決して見劣りしないライダーたちが一堂に集った日本GP。このグランプリの栄光をめざすトップライダーの熱い走りは、キミたちをエキサイトさせずにはおかない。彼らこそ、日本を代表するトップライダー。白熱のドラマの立役者なのだ。(数字はセッケン)



①片山敬済

(HIRCO)

昭和26年4月16日生 関西
72年全日本ジュニアチャンピオン
73年全日本エキスパートジュニア
750チャンピオン 77年世界GP
350チャンピオン 80年世界GP 500
cc 10位 82年世界GP 第1戦6位
同第4戦6位、同第8戦5位、同
第10戦優勝

●日本人初の世界チャンピオン
81年からホンダNR500で参戦
82年からはホンダNS500で、毎
スベンチャーと共に参戦し、毎
回ポイントを獲得して8月8日
の第10戦スウェーデン大会では
自らの優勝を獲得まさにGPラ
イダーとしてのライディングに
大いに注目しよう。マシンはホ
ンダNS500



①木下恵司

(ブレイムレーシングチーム)

昭和31年11月22日生 中部
76年ノービス250チャンピオン 77
年ジュニア250チャンピオン 78年
国際A級昇格 78年全日本350cc 3
位 78日本GP P350優勝 79年全
日本350ccチャンピオン 79年日本
GP P350優勝 80年全日本500cc 5位
81年全日本500ccチャンピオン

●昨年500ccのチャンピオンに
輝き、今シーズンはゼッケン
1で登場しているが、まだ1
勝も上げていない。しかし、
昨年ヤマハワークスとなり
マシンもYZR500を駆り、
日本GPにかけてくるはず。
彼本来の豪快な走りに注目



②金谷秀夫

(チーム カナヤ)

昭和20年2月3日生 関西
71年日本GP優勝 77年日本GP
優勝 77年TBCビッグロード優
勝 78年オーストラリアGP優勝
78年日本GP 2位 79年日本GP
優勝 81年日本GP 3位

●10年以上にわたり日本ロード
界をリードしてきたベテランラ
イダー ヤマハワークスのトッ
プとしてYZR開発にたずさわ
る一方、チームカナヤの会長と
して若手ライダー育成に余念が
ない。また念願のバイクショッ
プを今年のはじめオープンした
海外レース経験も多く世界的に
評価も高い。ベテランの味を見
揮ってくれる



⑤毛利良一

(チーム カナヤ)

昭和24年10月31日生 関西
72年ジュニア90チャンピオン 73
年エキスパートジュニア125チャン
ピオン 74年日本GP P125優勝
76日本GP P250優勝 76年全日本25
0チャンピオン 77年全日本750チ
ャンピオン 81年日本GP 2位

●デビューして10年以上のベテ
ランライダー独特の味のある走
りは常に若手ライダーの手本に
なっている。日本を代表するト
ップライダーとしてファンも多
い。今シーズンはシーズン前
にケガをして出場していないが、
日本GPはヤマハTZ500で大
いに盛り上げてくれる



⑥和田将宏

(チーム ミスターヒーロ)

昭和21年10月1日生 関西
76年全日本セニア250チャンピ
オン 72年インターナショナルライ
センス取得 80年鈴鹿8時間耐久
12位 81年日本GP スーパーバイ
ク優勝

●スーパーバイクを語るなら第
1に上げなければならないトッ
プライダーだ。もちろんロード
界のベテランライダーで昔から
のファンも多い。カワサキワ
ークスライダーとして長年開発に
たずさわっている。フォーミュ
ラ1クラスでは大いに注目
マシンはカワサキZ1000



⑦河崎ひろゆき

(SRP)

昭和20年10月31日生 中部
70年全日本チャンピオン 78年全
日本第1戦、第3戦、第5戦、第
6戦優勝 79日本GP 3位 79年世
界GP 第2戦5位 80年日本GP
2位 81年世界GP 総合10位

●現役最古参のトップライダー
表面的な栄光が少ないのはスズ
キワークスとしての仕事から
世界GPチャンピオンマシン・
RGガンマの開発に注力しては
ならない存在。身長180cmの巨
体を持ち「シャケさん」の愛称
で多くのライダーに親しまれて
いる。マシンはスズキRGガン
マ500



⑧水谷 勝

(SRP)

昭和24年10月7日生 中部
76年全日本ジュニア250チャンピ
オン 76年日本GP Pジュニア250優
勝 77年国際A級昇格 79年全日本
チャンピオン 79年日本GP 2位
80年日本GP 3位 80年全日本2
位 81年日本GP P優勝 81年全日本
5位 82年全日本第1-7戦連続
優勝

●今シーズン第1戦から7戦ま
で連続優勝をかさね、早くもチ
ャンピオンを決めている。昨年
からスズキワークスとなり、現
在一番注目を集めているライダー
だ。マシンはスズキRG B500



第6レース

国際A級500ccクラス 国際B級500ccクラス

●12日14時00分スタート
●17周 102.068km

●これまでの最高ラップ記録(国際A級500cc)2分49秒18日、日本GP、高井雄次選手

クラス	ゼンケン	ライダー	年齢	県名	クラブ	車名(ネーミング)/銘柄・型式
国際A級500cc	01	片山 敬 清	31	京都	HIRCO	H-NS500
	1	木下 恵 司	25	愛知	ブレイノイトレーシングチーム	Y-YZR500
	2	金谷 秀 夫	37	兵庫	チーム・カナヤ	Y-YZR500
	5	毛利 良 一	32	兵庫	チーム・カナヤ	Y-TZ500
	7	河崎 ひろゆき	36	愛知	SRPJ	S-RGガンマー500
	8	水谷 勝	33	愛知	SRPJ	S-RGB500
	9	阿部 幸 夫	34	静岡	TEAM RSC	H-NS500
	10	清原 明 彦	36	兵庫	神戸スーパースポーツ	K-KR500
	11	鈴木 修 彦	28	愛知	ブレイノイトレーシングチーム	プロショップ高井SPL Y-TZ500
	12	木山 賢 悟	29	三重	TEAM RSC	H-NR500
	15	杉本 五十洋	34	京都	マック ウェスタン	マック バルボリンTZ Y-TZ500
	18	石川 岩 男	26	東京	SRPJ	S-RGガンマー500
	20	上野 真 一	31	京都	レーシングスポーツ	Y-TZ500
	27	糟野 雅 治	33	京都	フライングドルフィン	Y-TZ500J
	28	浅見 真 男	33	東京	浅見レーシング	Y-YZR500
47	吉見 卓	23	京都	マック ウェスタン	マック バルボリンスペシャル Y-TZ500	
49	徳野 政 樹	29	兵庫	チーム38	K-KR500	
57	藤本 達	28	大阪	月本レーシングチーム	月本SPL RG500 S-RG500	
62	平 忠 彦	25	静岡	スポーツ・ライダー	Y-TZ500	
63	福島 秀 彦	25	千葉	チーム船平雲	S-RG500	
66	酒井 博 章	31	福岡	チーム・イクシーズ	Y-TZ500	
71	山川 マモル	29	兵庫	ウカワR&M・コメント	Y-TZ500	
79	新井 亮 一	24	東京	ノガロレーシング	ノガロ500 Y-TZ500	
85	藤本 泰 東	25	兵庫	チーム・カナヤ	Y-TZ500	
86	酒井 清 彦	26	千葉	SRS.KUBO	S-RGB500	
87	森田 隆	25	三重	SRC	SRC CB400R H-CB400R	
88	伊藤 巧	25	三重	南海レーシングチーム	南海SPL RGB500S-RGB500	
89	和歌山 利 宏	28	静岡	チーム・モトスポーツ	モトスポーツTZ Y-TZ500	
116	浦 正 勝	27	大阪	STARS	Y-TZ500	
117	保立 秀 男	30	茨城	鹿島レーシング	S-RG500	
123	斉藤 仁	24	東京	ジン・ブライズ タクミRT	KUBO SUZUKI S-RGB500	
133	島田 達	29	埼玉	埼玉イナレーシングチーム	Y-TZ500	
155	坂田 典 聡	23	東京	TEAM CAPRI SPORTS	CAPRI SPORTS RG S-RG-VI	
国際B級500cc	17	森 雅 彦	21	三重	SUZUKAササキチーム	Y-TZ
	19	岡本 静 慈	26	京都	K.G.ハンタリー ライダース	Y-TZ500
	98	宮崎 明 人	23	大阪	D.I.Cレーシングチーム	D.I.C RE500 H-CBX400改